

2024 年度版

多文化コミュニケーション学科

総合型選抜入試課題

次のテーマの中から1つ選び、指示に従って答えなさい。指定されている解答用紙を使って提出しなさい。（鉛筆不可）

下記に示す「テーマ一覧」から、あなたが最も興味を持っているものを 1 つ選び、そのテーマに対する自身の考えを多文化コミュニケーション学科の学びに関連付けて、700 字以上 800 字以内で論じてください。

テーマ一覧

- A 日本文化を世界に伝えるための効果的な方法
- B 国際社会が SDGs を推進している理由
- C ポストコロナにおけるインバウンドの今後の推移
- D これからの日本語教育（日本語教師）に求められること
- E これからの日本の学校英語教育に求められること





2024 年度版

経済政策学科  
総合型選抜入試課題

次の課題A・B・Cから1つ選び、800字以内であなたの考えを述べなさい。

○手書きの場合

「課題レポート（エントリー時提出）に記入し、記入欄が不足する場合は、別紙（記入欄をコピーしたもの）を使用してよい。（鉛筆不可）

○パソコンで作成する場合

Windowsで扱える文書ファイル（ワード、テキスト等）で作成し、A4縦用紙に横書きする。ただし、行・間隔等の指定は特にありません。

※氏名、課題A、B、Cを明記してください。

## 【A】 「前向きな価格設定促す」 日銀長崎支店長、黒住氏が着任会見

日銀長崎支店長に 5 日付で就いた黒住卓司氏（49）が 13 日、長崎県長崎市炉粕町の同支店で着任会見を開いた。本店を軸足に経済の調査、研究に従事してきた経験を生かし「県内企業に前向きな価格設定を促す取り組みを提案していきたい」と抱負を語った。

1998 年入行。主にエコノミスト畑のキャリアを歩み、米国への留学経験もある。前任は企画局政策調査課長で、日銀の金融政策の企画や立案、過去の政策を検証する「多角的レビュー」の取りまとめなどを担った。支店勤務は初めてで「長崎経済の調査や分析を通じて日本経済の課題について考えていきたい」と述べた。

「入行以来の問題意識として企業の前向きな価格設定を引き起こすには、何が必要かを考えてきた」とし、自身の知見や経験を踏まえた提言により、「やがて『長崎モデル』として全国で注目されるようにまでなれば」と意気込んだ。

本県経済の強みとして豊富な観光資源を挙げ「インバウンド（訪日客）回復や円安を追い風に観光需要が高まっている。こうしたところから収益が上がり、企業の賃上げの体力も上がるといった好循環が持続するのが大切」と期待した。

会見には長崎支店長を離任した鴛海健起氏（50）も同席。在任した 1 年 9 カ月の県内景気について「コロナ禍による足踏みから、ゆるやかな回復へと前進した」と総括した。また人手不足を背景に「県内企業の間でも『人を大事にする経済』にかじを切る雰囲気生まれている」とし「人口減少社会に前向きかつ戦略的に対応するモデルを、全国に先駆けて構築する契機としてほしい」と話した。

2023 年 6 月 14 日 長崎新聞 電子版より引用

### 【課題】

黒住氏が提案した「県内企業に前向きな価格設定を促す取り組み」について、長崎の経済ではどのようなことが言えるのか。具体例をまじえて、あなたの意見を 800 字以内で述べてください。

## 【B】大学卒業直後、50万円でカフェ起業 1年目黒字、無借金経営のコツ

働き方の多様化で起業を目指す若者は増えているが、資金調達などにハードルの高さを感じる人も多い。そんな中、和歌山市内でカフェを営む中本貴大さん(23)＝同市＝は大学卒業直後に50万円以下の資金で開業したという。中本さんは「莫大(ばくだい)な資金がなくても、この歳でも、起業できることを知ってもらいたい。ぜひ話を聞きに来てほしい」と話している。【安西李姫】

和歌山市の「創業支援等事業計画」によると、2022年度に市や商工会議所などが支援した創業希望者は延べ563人。このうち120人が実際に事業を始め、年齢別では29歳以下が約1割だった。「資金調達が大変そう」といったイメージがあり、起業をためらう人も多いという。

ところが、中本さんは大学の卒業式から5日目の昨年3月16日に、カフェ「Lop cafe & mini gallery」を同市十二番丁にオープンした。

開業資金が十分だったわけでも、準備が万全だったわけでもない。大阪の医療系大学に通い、柔道整復師を目指す普通の大学生だった。開業にかかる費用はいくらか、何から始めて良いかも分からない状況で、情報収集はスマホの検索がメインだった。「できる範囲で」を第一条件に、物心ついた時からのお年玉といつの間にか貯まっていたアルバイト代を開業資金に充てた。中本さんは「経営に関して、固定観念がなかったのも良かったかもしれない」と振り返る。

まずは営業に必要な食品衛生責任者の講習を受け、具体的な開業準備を始めた。物件は居抜きかつ家賃10万円以下といった条件で20件ほど回った最後に、間借りできる今のテナントが見つかった。カフェにかかった費用は、食器やエスプレッソマシンを購入した十数万円のみ。家具は不用品回収の地域掲示板「ジモティー」で気に入った品を選んだり、開業準備で出会った人が譲ってくれたりした。

中本さんは「社会人になって一人暮らしを始めるのと同じぐらいの費用で、カフェを始められた」と説明する。一方で、限られた資金でもギャラリーの併設にこだわった。県内外のアーティストに声をかけ、これまでに1カ月半ほどの個展を5回開催。出展料は取らないが、販売手数料を得られる仕組みとした。アート好きの人も訪れ、集客につながっている。

現在も無借金経営で、1年目の昨年は黒字を確保できた。周囲から「せっかくの勉強が無駄にならん」と言われることや、就職活動を進める友人に「カフェやるねん」と言えない時期もあったが、自分の選択に自信を持っている。『「あの人でもできるなら、自分も何かやってみようかな」と思ってくれる人がいたらうれしい』

2023年6月26日 毎日新聞 電子版記事より引用

### 【課題】

上記の記事では1年目黒字を確保できた企業の無借金経営のコツを述べている。自分自身が起業を考えた時、短時間で黒字化する為のコツをまとめて800字以内で述べてください。

## 【C】地域のチカラ 街のイノベーション アニメ「聖地」に誘客演出 コミケにブース出展

浜松市がアニメや映画などの舞台をファンが訪れる「聖地巡礼」をテコにした観光誘客に積極的だ。日本各地で同様の取り組みはあるが、浜松市は「ファンの期待を裏切らない」と、地元商店なども巻き込んで徹底して「聖地」を盛り上げ、地域活性化に結びつける。

2022年末、東京ビッグサイト(東京・江東)で開いた同人誌即売会、コミックマーケットの会場の一角が人気コスプレイヤー、猫田あしゅさんの撮影会でにぎわった。

「夢見る男子は現実主義者」のヒロインにふんじた猫田さんを目当てに約300人が集まった。

ブースを出展したのは浜松市だ。200万円を投じてコスプレ用の衣装やパネルを作り「エヴァンゲリオン」や「ゆるキャン△」など、市内を舞台にする映像作品をPRした。「現実主義者」もその一つ。7月にアニメ放送が始まる。

コミケに出展する自治体は珍しい。市によると、今回参加したのは浜松市のほか1市だけだが「浜松の魅力を発信する絶好の機会だと考えた」(フィルムコミッション推進室の原田憲治室長)。

「想像以上の集客効果でした」。天竜二俣駅(同市)の職員は驚きを隠さない。この駅は映画「シン・エヴァンゲリオン劇場版」にモデル地として登場した。公開から2年以上たった今も、客足は途絶えない。

アニメに登場する「人類補完計画」をまねた「人類乗車計画」と銘打ったキャンペーンを展開。ラッピング車両を走らせ、駅名をアニメに出てくる「第3村」に置き換えてファンを楽しませる。駅の見学ツアーの申し込みは3倍以上に増えた。

原田氏は聖地巡礼を地域活性化につなげるには「企業や住民と一緒に、ファンの心をくすぐる仕掛け作りが欠かせない」と指摘する。「全国には、聖地なのに何も無い場所も多い」(原田氏)

アニメ「ゆるキャン△」では市内の温泉施設など10カ所以上が取り上げられた。市はモデル地を掲載した地図を作り、ポスターやパネルを街の至る所に配置して「聖地らしさ」を演出する。地図への掲載をためらう店もあったが、市の職員が地域活性化の効果や作品の魅力を伝え協力を得た。

市が推進室を設置したのは15年。以降、モデル地になりそうな場所を探し提案してきた。「夢見る男子は現実主義者」のアニメ制作関係者は浜松市を選んだ理由を「遠州灘や砂丘、おいしいもの、文化的なものなどシチュエーションが豊富で魅力を感じた」と話す。

人気作品はシリーズ化することも多い。原田氏は、何度も足を運ぶ熱心なファンに街の魅力も伝えることで「映画やアニメのファンを、浜松市のファンにしていきたい」と今後を見据えている。

2023年6月27日 日本経済新聞より引用

### 【課題】

記事は、浜松市の地域活性化の取り組み事例です。あなただったら地域を元気にするために何に取り組み、どのように地域を活性化させますか。自分で地域を設定(諫早市、生まれ故郷、商店街など)し、800字以内であなたのアイデアを述べてください。







2024 年度版

社会福祉学科  
総合型選抜入試課題

次の課題A・B・Cから1つ選び、700字～800字であなたの考えを述べなさい。

○手書きの場合

「課題レポート（エントリー時提出）に記入し、記入欄が不足する場合は、別紙（記入欄をコピーしたもの）を使用してよい。（鉛筆不可）

○パソコンで作成する場合

Windowsで扱える文書ファイル（ワード、テキスト等）で作成し、A4縦用紙に横書きする。ただし、行・間隔等の指定は特にありません。

※氏名、課題A、B、Cを明記してください。

## 【A】

### SDGs の目標と温暖化対策について

SDGs とは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。

その取組み目標の中に、身近な問題の「プラゴミ対策」があります。

特に身近なプラスチックごみ(プラごみ)は、17 の大きな目標の 12～15 が関係しています。ゴミが山や川そして海に捨てられたり、スーパーやコンビニ、ファミレスなどでのレジ袋やプラスチック製の飲料コップなどがゴミ化し、あらゆるところに投棄され、浜辺には数多くのゴミが打ち上げられています。2019 年の 1 年間で排出したプラスチックは、およそ 850 万トンにのぼります。また、海を漂流するレジ袋やプラごみも年々増え、浮遊し、分解されやがて微小のマイクロプラスチックとなり消えることはありません。

その間、魚や海洋動物が誤食し、それが原因で死んでしまう海洋生物が大きな社会問題となっています。また近年、世界では北極などの氷山が溶ける速度が加速、気候変動にも影響、熱波での不作や海水温の上昇による堤防の氾濫、暑さが 40 度を超える日が何日も続くなど、日本においても異常気象が日々報道されています。

このように、世界的な気候変動は、生きる全ての生物に大きな影響を与えています。

また、魚介類を食する人への健康被害の影響も懸念されています。

今や、人間にとっても温暖化対策は待ったなしで、各国の喫緊の大きな課題となっています。特に長崎県は、海と島々に囲まれており、海洋ごみが大きな問題となっています。

#### 【課題】

- (1) SDGs とは
  - (2) 自分そして家庭、学校、地域でできるプラごみ対策について
  - (3) イギリスの産業革命とロンドンを覆いつくした酸性霧について
- 以上、3 点について、あなたの考えを 700 字以上 800 字以内で書いてください。

## 【 B 】

### 「認知症基本法」成立、社会活動の機会確保を盛る

認知症に関する初の法律「認知症基本法」が14日、参院本会議で全会一致で可決、成立した。社会活動に参加する機会の確保など様々な認知症の施策に取り組み、認知症の人が暮らしやすくするのが狙い。「世界アルツハイマーデー」の9月21日を「認知症の日」と定めるとした。

新法には、国民の責務として「共生社会実現への寄与」を盛り込んだ。認知症施策の基本理念として、全ての認知症の人が自らの意思で日常生活や社会生活を営める▽社会のあらゆる分野の活動に参画する機会の確保——などを掲げた。

また具体策として、バリアフリー化の推進▽意欲や能力に応じた雇用の継続、就職に資する施策▽保健医療、福祉サービスの切れ目ない提供▽認知症の早期発見、早期診断、早期対応を推進——などを挙げた。政府には、具体的目標や達成時期を入れた基本計画をつくるよう義務づける。自治体にも計画策定の努力義務を課す。

厚生労働省の推計では、認知症の人は2025年に高齢者の約5人に1人、約700万人に達する。増加する認知症の人や家族を社会がどう支えるかが課題だ。政府は19年の認知症施策推進大綱で、「共生」と「予防」を施策の両輪に位置づけた。一方、新法は「共生社会の実現」を明確な目的に掲げ、予防は施策の一つとした。

(朝日新聞 朝刊総合 2023年6月15日)

#### 【課題】

誰もが認知症になっても自分らしく暮らせるためには、どのような環境の整備が必要ですか。具体例を交えて700字以上800字以内であなたの考えを書いてください。

## 【 C 】

### 社説「ひきこもり支援 本人や家族を孤立させぬよう」

ひきこもりは、今や性別や年代にかかわらず、社会が直面する深刻な問題である。本人や家族を孤立させないよう、支援することが大切だ。

内閣府は、15～64歳の国民のうち、外部との交流が少ない「ひきこもり」の状態にある人は、推計146万人に上っているという調査結果を発表した。

今回の調査は初めて、若者から中高年までの幅広い年代を対象に実施した。かつては若者の問題だと捉えられてきたが、長期化、高齢化が目立っているからだ。

調査結果によると、ひきこもりの人は、若い世代にも中高年にも2%ほど存在している。今までは男性のイメージが強かったが、女性も少ないわけではなく、40～64歳は52.3%が女性だった。

146万人は推計値で、実際にはもっと多い可能性もある。ひきこもりは、本人だけでなく家族も苦しい思いをしている。

ひきこもり状態になった主な理由としては、不登校や退職、人間関係のつまづきが目立っている。新型コロナウイルスの流行を理由に挙げる人もいた。

ひきこもりは自己責任で片付けられがちだ。しかし、多くの人が就学や就労をしないまままでいるとしたら社会的損失は大きく、個人の問題では済まされない。

近年、高齢の親が中年になったひきこもりの子を支える「8050問題」が社会問題化している。親が亡くなると生活に困窮するため、一段と深刻になる。

亡くなった親の遺体をそのまま自宅に放置して、ひきこもっている人が死体遺棄罪に問われる例が後を絶たない。ひきこもりを巡る親子間の殺人事件も起きている。家族が孤立した末の悲劇で、痛ましいというほかない。

また、親の弱みにつけ込んで高額な費用を要求し、ひきこもりの人を強制的に自宅から引きずり出す悪質業者も問題になっている。強引な手法は精神的ダメージをさらに悪化させる。本人の意思を無視した対応は避けるべきだ。

外部との接触に慣れてもらうには、地域の居場所づくりがカギになる。インターネットに親しんでいる若い世代には、オンライン交流会の開催も効果的だろう。

本人が働くことを望んでも、受け皿がなければ難しい。コロナ禍でテレワークが普及した今、企業はネットを活用した就労機会の創出も検討してはどうか。

国や自治体、民間が協力し、社会復帰へのきっかけづくりに取り組んでもらいたい。

読売新聞 2023/05/23

社説：ひきこもり支援 本人や家族を孤立させぬよう

#### 課題

1. ひきこもりがどのような問題を引き起こしていますか。
2. 記事を参考に、あなたが、考えるひきこもり支援について

以上、2つの課題について700字以上800字以内で書いてください。



